

## 19 ショクゴマガイ

(ゴマガイ科)

兵庫県ランク:B

*Diplommatina shikokuensis*

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

四国に広く分布し、いくつかの地方型がある。殻高4mm程度になり、ゴマガイ類では比較的大型の種類である。体層と次体層の成長脈は細かく、これより上では荒く間隔が広い。成貝では口唇が二重唇となり、軸唇末端は角張るが、兵庫県産においては角張りが弱い。殻色は濁黄白色から帯橙色。近似種にキイゴマガイ *D. kiiensis*、イブキゴマガイ *D. collarifera collarifera*、オオウエゴマガイ *D. c. tenuiplica* などがある。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
				○		○	○

### 県内分布

洲本市、南あわじ市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島中部、南部の諭鶴羽山系を中心とした山地に分布し、四国と紀伊半島との地理的考察を考える上で地理分布上重要な種とみなされる。四国産のショクゴマガイに比較して軸唇末端の角は若干弱い。淡路島中・北部や県内西部に産する軸唇末端の角がほとんどないオオウエゴマガイとは区別可能であるが、淡路島での分布は近接しており、分子生物学的検討も必要と考えられる。

### 保護上の留意点

生息域の自然林や社寺林の保全に努め、林床の著しい乾燥やヒノキ林の植林を施さないようにする。



写真提供：増田修



【執筆者】 増田修